

～ 陸中黒埼灯台で山伏神楽舞う～

陸中黒埼灯台は、陸中海岸国立公園内の通称「黒埼園地」と呼ばれる、国民宿舎「くろさき荘」を中心とした、展望施設・オートキャンプ場、海釣り公園等の野外活動施設内に位置しており、北山崎と共に北部陸中海岸を代表する景勝地として多くの観光客が訪れる、普代村の中心的観光地となっています。

2019年には、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、「恋する灯台」にも認定されるなど「ロマンスの聖地」として灯台に新たな魅力が付加されるなど、普代村の観光資源としての価値を高めています。

11月1日には日本財団「海と灯台プロジェクト」の事業として、陸中黒埼灯台で、普代村の卯子酉山（うねとりさん）に鎮座する「鵜鳥神社」に古くから伝わる山伏神楽「鵜鳥神楽」の実演が実施され、コロナ禍により、観客が無いなかで、鵜鳥神楽保存会と、撮影スタッフなど小人数の関係者が見守るなかで、地域に伝わる山伏神楽が上演され、大漁成就・五穀豊穰・家内安全などの祈祷の舞が披露されました。



夕闇に舞う鵜鳥神楽



①保存会による祈祷の舞



②保存会による祈祷の舞



普代村観光用動画撮影